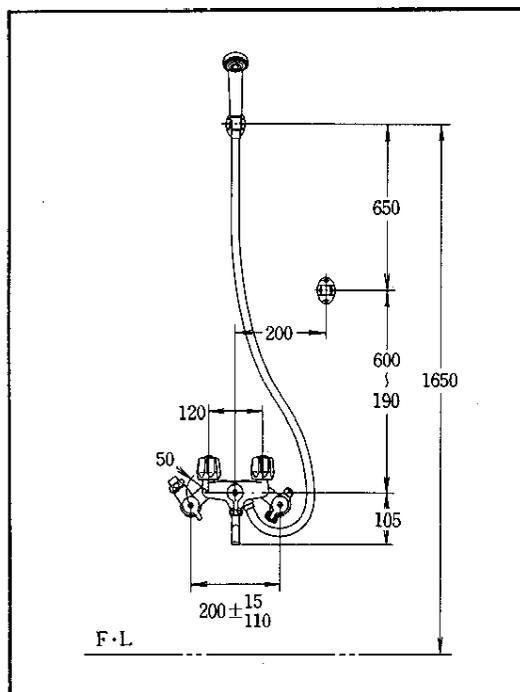


太陽熱温水器用2バルブシャワーバス金具 (他熱源併用型)取付説明書

完成図

TM261C



使用条件

1. 使用水圧

(1)ガス瞬間湯沸器と組合せる場合。

給水圧力 ———— { 最低必要水圧……(表参照)
最高水圧………7.5kg/cm²

湯沸器号数	最低必要水圧
8号	湯沸器の最低作動水圧 + 0.7kgf/cm ²
10号	〃 + 0.8kgf/cm ²
12号	〃 + 1.0kgf/cm ²

能力切替式湯沸器で次の号数に切替えられる場合。

5号	湯沸器の最低作動水圧 + 0.6kgf/cm ²
8号	〃 + 0.8kgf/cm ²
10号	〃 + 0.9kgf/cm ²

以上は下記条件を想定して求めた水圧です。

- 湯側ハンドルは全開
- 湯沸器温度調節は「高温」に設定
- 夏季水温 25℃
- 給湯配管長 5m
- シャワ吐水温度 42℃

(2)石油瞬間湯沸器及び貯湯式温水器と組合せる場合。

給水・給湯圧力 ———— { 最低必要水圧……0.5kgf/cm²
最高水圧………7.5kgf/cm²

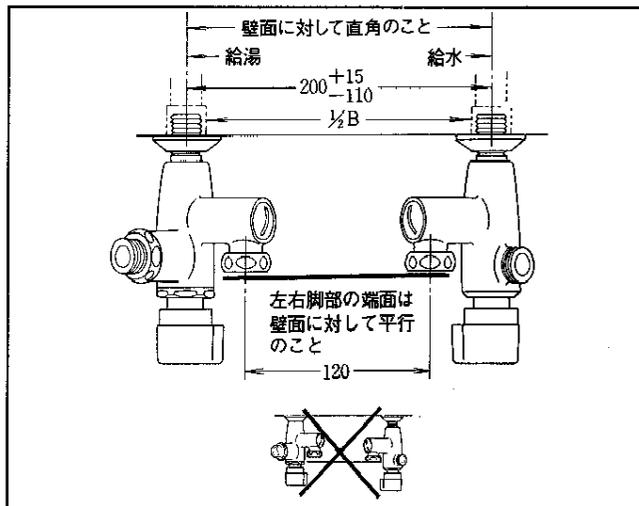
2. 給湯に蒸気を使用しないでください。
3. 湯・水及びソーラーへの給水・給湯配管を逆配管しないでください。
なお給湯器からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管してください。
配管後は必ず保温材を巻いてください。
4. フランジ及びフレキシブル管は、別途市販品をご使用ください。

※太陽熱温水器を1階の屋根に設置されている場合には、給湯圧力が不足して満足なシャワ吐水量が得られないことがあります。

この場合には、別売の加圧ポンプ(RMS15)を給湯配管に組込むと十分な吐水量が得られます。

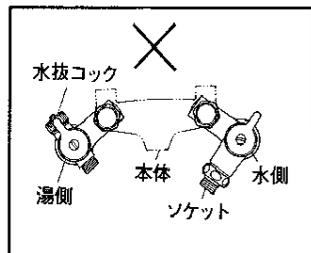
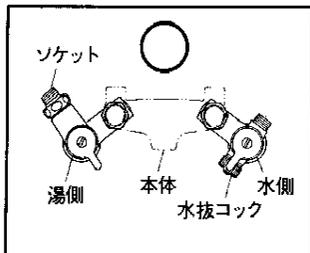
器具の取付け

1. 給水管内の清掃
器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
2. 脚部の取付け



※水側・湯側の脚を逆に取付けると使用できませんので注意してください。

※器具の使用勝手上、脚部取付位置が必ず本体の下になるよう施工してください。

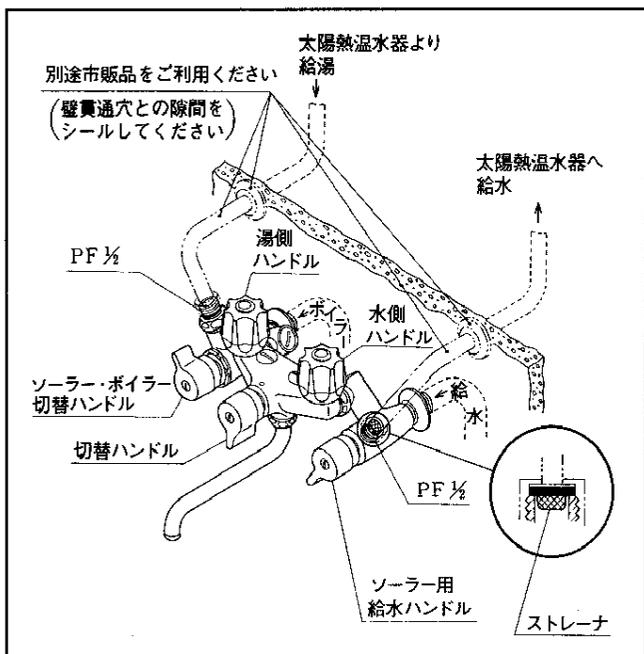


3. シャワースプレーホースの取付け

- 本体を脚部に接続する前にシャワースプレーホースを本体に取付けてください。
- シャワースプレーホースは脚部の下から取出してください。

4. 配管要領

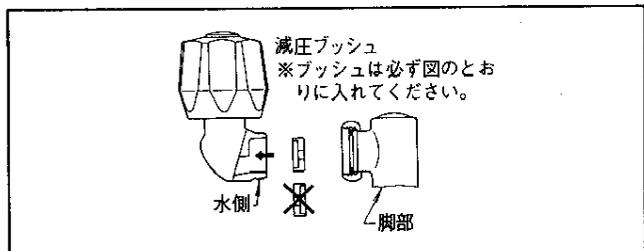
下図を参考に施工してください。



※ソーラー給水側には、同梱のストレーナを必ず取付けてください。

5. 減圧ブッシュの取付け

給水圧力が2.0kgf/cm²以上の場合は、本体の給水側に、同梱の減圧ブッシュをはめ込んでください。



ストレーナの掃除

ストレーナが詰まると給水時間が長くなったり、湯の出が悪くなるなど十分な機能が発揮されなくなります。

器具取付後は、必ずストレーナを掃除してください。

また、お客様にもときどき掃除していただくようにご指導ください。

凍結防止

凍結のおそれのある時期に施工された場合は、太陽熱温水器の給水・給湯管の凍結を防止するため次の手順で水抜きをしておいてください。また、お客様にも水抜き方法をご指導ください。(水抜き手順の図を参照してください。)

1. ソーラー用給水ハンドルを閉じる。
2. ソーラー・ボイラー切替ハンドルをソーラー側に切替える。
3. 切替ハンドルをカラン側に切替える。
4. 湯側ハンドルを開き、水(又は湯)が出終わることを確認する。
5. 水抜コックを開いて、給水管内の水を抜く。

お手入れ

めっきされた器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。

1. 常に柔らかな布でみがき、ときにはミシン油やカーワックスなどをしみこませた布でふくこと。ただし、樹脂部に付着すると光沢を失うので付着しないよう十分注意すること。
2. クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどは使用しないこと。
3. 酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないこと。もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いすること。

お願い

太陽熱温水器の配管方式により、次の2種類の給湯操作方式がありますので、現場の配管方式に合った出湯操作方法をお客様に十分ご説明してください。

1. ロット方式
湯を使用するとき、太陽熱温水器への給水を止めて行なうもの。
2. オーバーフロー方式
湯を使用するとき、太陽熱温水器へ給水しながら行なうもの。

分解と点検

取付け後万一故障などで分解するときは、次の要領で行なってください。

故障とその点検箇所		
故障	点検箇所	
水が止まらない	湯水ハンドルを閉じてても水が漏れる	湯及び水側のハンドル部を分解して"シート"及び"パッキン"のごみかみ、傷などを点検する
	切替ハンドルを"止"にしたとき水が漏れる	切替部を分解しシャワ側、カラン側の"シート"及び"パッキン"のごみかみ、傷などを点検する
切替ハンドル部から水が漏れる	切替ハンドルをはずしブライヤーなどで締付ナットを締増す	
ソーラーの湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレーナに目づまりがないか点検する ・ソーラー用給水ハンドルが開かれているか確認する(オーバーフロー方式の場合) 	

水抜手順

